

USB 2.0/1.1 Portable DVD-R/RWユニット

ユーザーズマニュアル

LDR-P22U2

本書について

本ユーザーズマニュアルでは、本製品を使用してDVDメディアへの記録・再生ができるようになるまでの手順および、本製品使用上の注意事項・取り扱い方法について説明しています。

ユーザーズマニュアル概要

はじめに第1章をお読みになり、本製品の特徴・使用上の注意事項を良くご確認いただいたうえで、第2章を参照して本製品の接続を行ってください。

次に第3章を参照して付属のソフトウェアをインストールします。インストール時にわからないことがあれば「付録 付属ソフトウェアについて」の該当するソフトウェアの箇所を参照してください。

第4章では、用途に応じたソフトウェアの選択方法、本製品の取り扱い方法について説明しています。

また第5章にはトラブルシューティングや、本製品を使用する上で必要なパソコンの環境条件等が記載されていますので、必要に応じてご参照ください。

接続後のソフトウェアの操作方法について

各ソフトウェアの操作方法につきましては、ソフトウェアごとにユーザーズマニュアルやヘルプファイル等が電子データとして用意されていますので、そちらをご参照ください。本書の「付録 付属ソフトウェアについて」では、各ソフトウェアごとに簡単な機能のご紹介とソフトウェア特有の注意事項、マニュアル類の参照の仕方などについてご紹介しています。

付属品の確認

DVD-R/RWユニット	1台
USBケーブル (USB 2.0 High-Speed対応)	1本
ACアダプタ	1個
ソフトウェア	
B's Recorder GOLD 5 BASIC for Windows	1式
B's CLiP5	1式
B'sラク～だ!バックアップ	1式
MyDVD バージョン4	1式
ShowBiz	1式
CinePlayer	1式
Windows 98 Second Edition用USBドライバ ...	1式
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
DVD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

添付のソフトウェアは全て1枚のCD-ROM「LDR-P22U2 Software Pack」に収められています。

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

目次

取扱い上のご注意	2
ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	6
ごあいさつ	8
ご注意	8
第1章 ご使用の前に	9
1.1 製品の特徴	9
1.2 使用可能なメディア	10
1.3 使用上のご注意	11
1.4 各部の名称	12
1.5 接続の前に	14
第2章 接続について	15
2.1 接続の手順	16
2.2 接続結果の確認	17
2.3 USBドライバのインストール	18
2.4 Windows Meでの設定	20
第3章 ソフトウェアのインストール	22
3.1 インストールするソフトウェアについて	22
3.2 インストール方法	24
第4章 接続・インストール後の取り扱いについて	26
4.1 DVDビデオを作るには	26
4.2 DVDビデオを再生するには	27
4.3 パソコンのデータをDVDに書き込むには	28
4.3.1 バックアップソフトのご紹介	28
4.3.2 リカバリーDVD/CDの作成方法	30
4.3.3 リストアについて	41
4.4 メディアのセット/取り出しについて	45
4.5 本製品を取り外す場合は	48
第5章 補足事項	50
5.1 トラブルシューティング	50
5.2 デバイス上の登録名について	53
5.3 使用環境について	54
付録 付属ソフトウェアについて	56
B's Recorder GOLD5 BASIC	56
B's CLiP5	59
B's ラク~だ!バックアップ	61
MyDVD 4.0	64
ShowBiz	69
CinePlayer	71
ハードウェア仕様	74

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



⚠ 警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。
分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属の物を使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプタを大切に。

ACアダプタは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因となります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



⚠ 注意

ACアダプタのプラグはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



注意

本製品の稼動中に AC アダプタのコード、ケーブル類を抜かないでください。データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

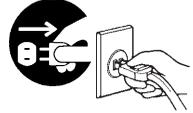
注意

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。

1・2・3・4・5



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



オーディオCDを再生するときは

本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害が発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換/保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社 DVD-R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は DVD-R/RW ユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 DVD-R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようにご注意ください。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Pentium®、Celeron®は米国Intel社の登録商標です。MyDVD™、CinePlayer™はSonic Solutions社の米国およびその他の国での登録商標です。B's Recorder GOLD、B's CLiP、B'sラク～だ!バックアップは株式会社BHAの商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

第1章 ご使用の前に

1.1 製品の特徴

本製品はUSB 2.0のHigh Speedに対応したポータブルタイプのDVD-R/RWユニットです。DVD-R、DVD-RWメディアへの2倍速書き込み、CD-Rメディアへの16倍速書き込み、CD-RWメディアへの8倍速書き込みに対応し、上記各メディアへの書き込み、DVDビデオの再生に必要なソフトウェアを付属しています。

コンパクトなボディは設置場所を選びません。軽量で持ち運びにも最適です。

付属のソフトウェア「B'sラク～だ!バックアップ」を使用すれば、ご使用のWindows環境のバックアップや、リカバリーDVD/CDを作成することができます。

動画キャプチャ・動画編集・DVDオーサリングソフトウェアが付属していますので、DVDビデオを作成できます。

DVD再生ソフトが添付されていますので、市販のDVDビデオなどをパソコンの画面で再生することができます。

DVD-R、DVD-RWメディアにはDVD-ROM互換のPCデータ書き込みを行うことができるので、大容量のPCデータの保存や配布に活用できます。もちろんDVD-R、DVD-RWメディアだけでなく、「CD-R/CD-RWメディアへの書き込みにも対応しています。

1.2 使用可能なメディア

DVD メディア

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
DVD-R Ver.1.0	3.95GB	-	最大 4 倍速
DVD-R for Authoring Ver.2.0	4.7GB	-	最大 4 倍速
DVD-R for General Ver.2.0	4.7GB	2 倍速 / 1 倍速	最大 4 倍速
DVD-RW Ver.1.1	4.7GB	2 倍速 / 1 倍速	最大 4 倍速
DVD-ROM single	4.7GB	-	最大 8 倍速
DVD-ROM dual	8.7GB	-	最大 6 倍速
DVD-Video	-	-	最大 2 倍速

USB 1.1 接続時は DVD メディアはご使用になれません。

特色

- DVD-ROM : 読み込み専用のメディアです。
- DVD-Video : 動画と音声をデジタルで記録した読み込み専用メディアです。
- DVD-R : 一度だけ書き込みが可能な DVD メディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- DVD-RW : 書き込みや書き換えが可能な DVD メディアです。



ご注意

本製品では DVD-RAM メディア、DVD+R メディア、DVD+RW メディアはご使用になれません。

CD メディア

メディア名	書き込み速度	読み込み速度
CD-ROM	-	最大 24 倍速
CD-R	16 / 12 8 / 4 倍速	最大 24 倍速
CD-RW	8 / 4 倍速	最大 16 倍速

USB 1.1 接続時はすべての CD メディアで速度が 8 倍速未満に制限されます。

特色

- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽 CD まで、幅広い用途で使用されています。
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 書き込み、書き換えが可能なメディアです。

1.3 使用上のご注意

- 付属のソフトウェアを使用してDVDの記録、再生等を行うためにはパソコン本体にUSB 2.0インターフェースが装備されている必要があります。
- 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- 市販のDVDプレーヤーの中には、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオを再生可能なDVDプレーヤーに関する情報は、弊社ホームページ (<http://www.logitech.co.jp/>)をご参照ください。
- パケットライトソフトウェア「B's CLiP」でDVD-RWメディアに書き込まれたデータは、DVD-RWメディアへの書き込みに対応した製品以外のドライブでは読み出すことができません。これはDVD-RWメディアへの書き込みに「Restricted Overwrite方式」が使用されているためです。
- DVD-R、DVD-RWメディアにはラベルを貼付しないでください。

設置の際は...

本製品およびケーブル類の接続端子部分には触れないでください。(故障の原因になります)
水平にて設置してください。(本製品を垂直方向には設置しないでください)

移動・輸送の際は...

本機を移動するときは、ディスクを取り出しトレイを閉じた後必ず本製品の電源をお切りください。
本機を移動や輸送するときは、落としたり、ぶついたりしないでください。

ご使用の際は...

トレイを出したまま放置しないでください。(内部にホコリが入り、故障の原因となります。)
トレイには本製品で使用可能なメディア以外はセットしないでください。(故障の原因となります)
本機は必ず横置きで設置してください。パソコン等に立てかけてのご使用は故障の原因になります。
無理にトレイ部分を開けないでください。(故障の原因になります)
本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。(磁気の影響で、動作が不安定になることがあります)
本製品が結露した状態で使用しないでください。
(寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、結露し、誤動作・故障の原因になります。)
近くにあるテレビやラジオに雑音が入る時は、2m以上離すかコンセントを別にしてみてください。

レンズやメディアのお手入れの際は...

長時間使用すると、本製品のレンズやメディア側にはほこりが付着して、正常に読み書きできなくなる恐れがあります。使用環境や使用回数によって異なりますが市販のレンズクリーナーやディスククリーナーなどを用いて、約1年に一度お手入れをすることをお勧めします。

本機表面のお手入れの際は...

汚れは柔らかい布で軽くふき取りってください。
汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)を布に浸し、よく絞ってからふいてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わないでください。

1.4 各部の名称

本製品前面

トレイ

各種DVD/CDメディアをセットする部分です。

イジェクトボタン

オフライン状態(パソコンが本製品を使用していない状態)でこのボタンを押すとトレイを排出することができます。

ビジー表示ランプ

本製品に対してアクセスが行われるとオレンジ色に点灯します。

強制イジェクトホール

何かの原因でイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合に使用します。詳細は第4章「4.4 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

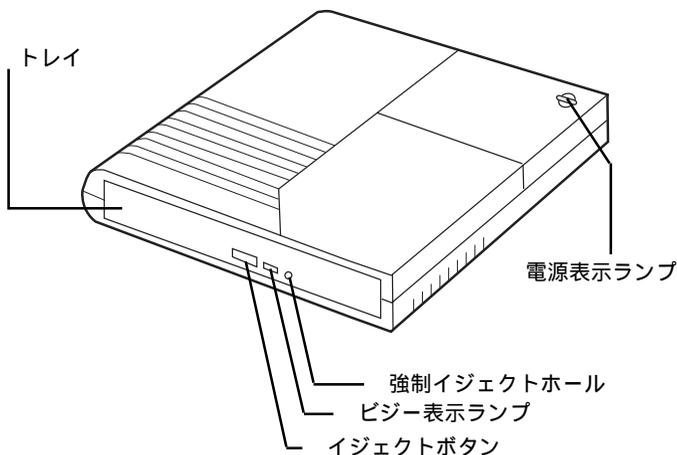
電源表示ランプ

本製品に電源が供給されているときに点灯します。



ご注意

本製品には電源スイッチがありません。ACアダプタをコンセントに接続しACアダプタのプラグを本製品の電源コネクタに接続すると電力が供給され、電源表示ランプが点灯します。



本製品背面

本製品背面

電源コネクタ

付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

オーディオ端子

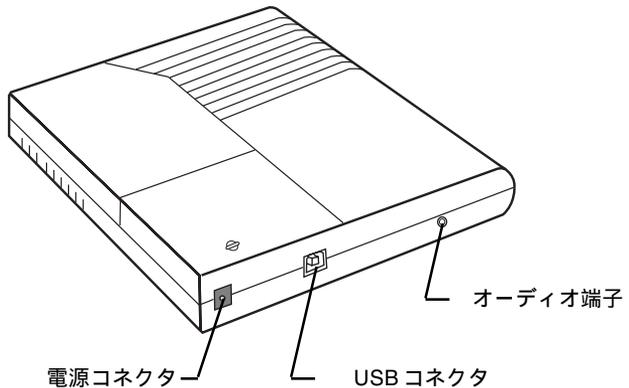
ここにアンプ内蔵の外部スピーカなどを接続すると、接続したスピーカで音楽用 CD の再生ができます。

(ヘッドフォンやパッシブスピーカでは音量が小さすぎる場合があります。)

注) DVD ビデオの音声は再生されません。

USB シリーズ B コネクタ

付属の USB ケーブルを使用して、パソコン本体の USB コネクタと接続します。



ご注意

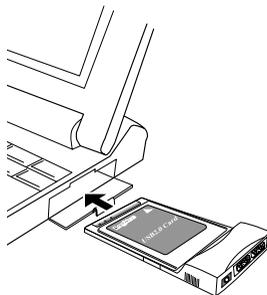
本製品は必ず横置きでご使用ください。パソコンなどに立てかけてのご使用は故障の原因にもなりますので、おやめください。

1.5 接続の前に

USB 2.0 インターフェースカードの接続

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合、USB 2.0のHigh-Speed転送を行うには、別売のUSB 2.0インターフェースカード（CardBus 対応インターフェースカード、もしくはPCI用USB 2.0インターフェースボード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にUSB 2.0インターフェースカードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいください。本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。（その場合の機能はCD-R、CD-RWメディアへの書き込み、CD-ROMの読み込みのみとなります。）



USB 2.0のインターフェースボード/カードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2	CardBus	インターフェースボード単体

PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2N	PCI	インターフェースボード単体
LHA-USB2		

第2章 接続について

本章では、本製品の接続とインストールの手順をご説明いたします。本製品はUSB 2.0ポート、USB 1.1ポートどちらにも接続できます。ただし、本製品をUSB 1.1ポートへ接続した場合、データ転送速度はFull-Speed (12Mbps)までとなり、DVDビデオの再生は行えません。また、CD-R/RWメディアへの書き込み/読み込み速度は最大8倍速相当までに制限されます。

本製品を接続する前に、以下の点をご確認ください。

！ 接続の際のご注意

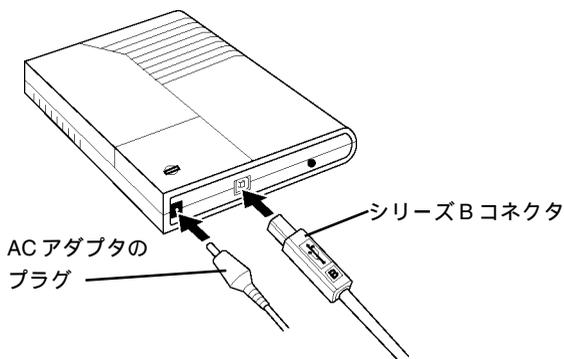
- ・ 本製品はUSBハブ経由では接続しないでください。USBハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・ 本製品はバスパワーで使用することはできません。必ずACアダプタのコンセントを接続してください。
- ・ 複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのはやめてください。トラブルの原因となります。
- ・ 本製品をUSB 2.0で使用される場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0ポートへ接続してください。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合の機能はCD-R、CD-RWメディアへの読み込み/書き込み、CD-ROMの読み込みのみとなります。
- ・ 本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・ USB 1.1ポートへ接続し使用する場合もなるべく本製品付属のものかUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

2.1 接続の手順

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動しておいてください。

付属USBケーブルのシリーズBコネクタ(断面が正方形に近い方)を本製品のUSBコネクタに接続します。

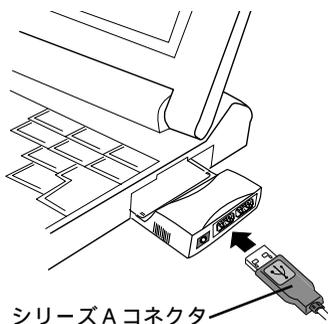
付属の AC アダプタのプラグを、本製品の電源コネクタに接続します。



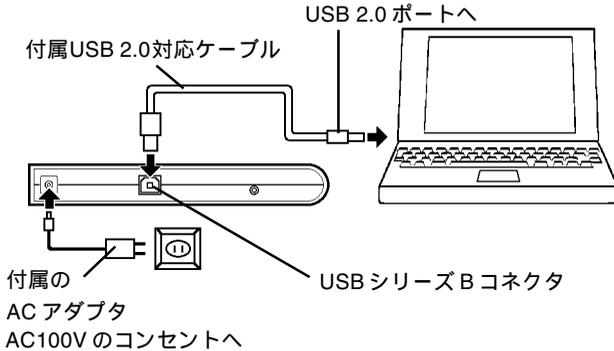
ACアダプタをAC100Vのコンセントに接続し、本製品の電源表示ランプが点灯することを確認してください。

付属USBケーブルのシリーズAコネクタ(断面が平たい方)を、パソコン本体のUSB 2.0ポートに接続してください。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。

右の図はUSB 2.0対応のPCカードへの接続例です。USB 2.0ポートが標準搭載されている機種では直接パソコンのUSB 2.0ポートへ接続してください。



以上で接続は終了です。下の接続図と比較して、間違っていないことを確認してください。



2.2 接続結果の確認

Windows 98 Second Edition をご使用の方は接続後 USB ドライバのインストールをおこないます。次ページ「USB ドライバのインストール」へお進みください。

Windows XP, 2000 の場合

接続後、本製品が自動的に認識され Windows の標準ドライバがインストールされます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールして DVD-R/RW への書き込み、DVD ビデオ再生の準備をします。「第3章 ソフトウェアのインストール」へお進みください。

Windows Me の場合はその前に CD-ROM の自動挿入機能を OFF に設定する必要があります。「2.4 Windows Me での設定」をご参照ください。



Windows XP で表示
されるアイコン



Windows Me, 2000 で表示され
るアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、第5章の「5.1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。

2.3 USBドライバのインストール

(Windows 98 Second Editionのみ)

インストール手順

接続が完了すると、本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で
2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵のCD-ROMドライブに本製品付属の「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMをセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして
2. ここに、半角英数字で以下のように入力して



3. 「次へ」をクリック

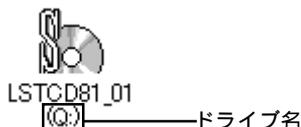
Q:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98

Point

ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

以上でUSBドライバのインストールは終了です。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、右のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールしてDVD-R/RW 書き込み、DVD ビデオ再生の準備をします。「第3章 ソフトウェアのインストール」へお進みください。アイコンが新しく登録されない場合は、第5章の「5.1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。



2.4 Windows Me での設定

Windows Meではソフトウェアのインストールを行う前に、以下の手順で本製品のCD-ROM自動挿入機能をOFFに設定してください。

「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されます。

1. CD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください。
2. 「PIONEER DVD-RW DVR-K11」をクリックして選択状態にして、
3. 「プロパティ」ボタンをクリックします。



本製品（PIONEER DVD-RW DVR-K11）のプロパティウィンドウが表示されます。

1. 「設定」タブをクリックして「設定」ウィンドウを表示させます。
2. 「挿入の自動通知」のチェックボックスのチェックマークを外して、
3. 「OK」ボタンをクリックします。

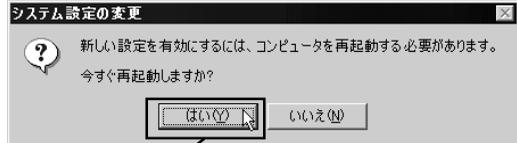


再び「デバイスマネージャ」ウィンドウに戻りますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

「閉じる」ボタンをクリック



「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。「はい」をクリックしてシステムを再起動してください。



「はい」をクリック

再起動が完了したら、付属のソフトウェアをインストールしてDVD-R/RW書き込み、DVDビデオ再生の準備をします。「第3章 ソフトウェアのインストール」へお進みください。

第3章

ソフトウェアのインストール

接続後、本製品はDVD-ROMドライブ（リーダ）として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RWメディアへの書き込みや、DVDビデオの再生はできません。

DVD-R/RWユニットはソフトウェアを使用してデータの書き込みやDVDビデオの再生を行うためです。

本章では、本製品に付属しているソフトウェアの概要とインストール方法についてご説明します。

3.1 インストールするソフトウェアについて

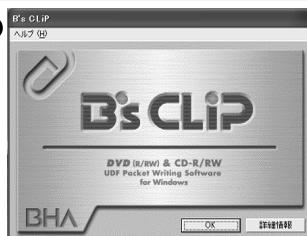
B's Recorder GOLD5（DVD-R/RW、CD-R/RWライティング）

オリジナルDVDやCDの作成、DVDやCDのバックアップ用途に最適なソフトウェアです。データの登録から書き込みまでの作業が一画面で完結する「ウィザード機能」で、簡単にDVDやCDを作ることができます。



B's CLiP5（DVD-RW、CD-RWパケットライト）

書き込みのために、アプリケーションを起動する必要がなく、ドラッグアンドドロップで簡単に書き込みを行うことができます。



B's ラク～だ！バックアップ（バックアップソフトウェア）

Windowsのシステムがインストールされているドライブをまるごとバックアップできます。システムが安定して動作している状態でリカバリーDVD/CDを作成することができます。また、ファイルやフォルダ単位でのバックアップも可能です。



MyDVD 4.0 (動画キャプチャ・DVD オーサリング+ライティング)

DVD オーサリング (DVD ビデオ用のメニュー作成と動画ファイルの関連付け作業)とメディアへのライティングを簡単な操作で行うことができます。

また、DV カメラなどからキャプチャした動画データをエンコードして、そのままメディアへ書き込むことのできる「Direct-to-DVD機能」を搭載しています。ユーザーによるオーサリングやライティング操作が不要ですので、手軽にDVD ビデオの作成を行うことができます。



ShowBiz (動画キャプチャ・動画編集)

テレビやビデオ、DV カメラの録画・編集・ファイル変換が可能な本格的なビデオ編集ソフトです。



CinePlayer (DVD ビデオ再生)

パソコン上でDVD ビデオの再生を行うためのソフトウェアです。市販の映画やミュージッククリップなどのDVD ビデオタイトルからオリジナルDVDビデオまで、高機能再生が可能です。

もちろんビデオCDにも対応しています。



第1章 ご使用の前

第2章 接続について

第3章 ソフトウェアのインストール

第4章 接続・インストール後の取り扱いについて

第5章 補足事項

付録

3.2 インストール方法

ソフトウェアインストールの前に本書6ページの「ソフトウェア使用権許諾契約書」をお読みください。許諾内容に合意される場合のみ、付属の各ソフトウェアをご使用いただけます。なお、インストールされた場合は許諾内容に合意されたものとさせていただきます。

インストールに必要なもの

「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROM

インストールの際のご注意

Windows XP、2000をご使用の場合は、管理者権限のあるユーザー（たとえば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等）としてコンピュータにログオンしてください。

1. 付属の「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

2. 自動的にセットアップランチャーが表示されます。インストールするソフトウェアの左側にあるボタンをクリックします。



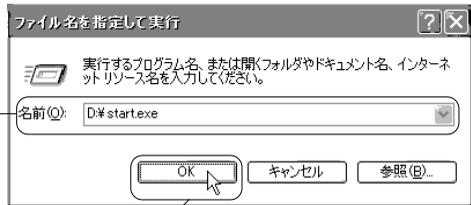
3. クリックすると各ソフトウェアの画面に切り替わります。その画面で「インストール」ボタンをクリックするとインストーラが起動します。その後はウィザードに従ってインストールを進めてください。

Point ポイント

セットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「D:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

ここで入力する「D:」はCD-ROMがセットされているCD-ROMドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。

1. 「D:¥start.exe」と入力して、



2. 「OK」ボタンをクリック

Point ポイント

ソフトウェアによっては、製品のシリアル番号を入力する画面がインストール中に表示されます。その場合はインストールしているソフトウェアのシリアル番号を半角文字で入力してください。

どうしてもわからない場合は、「付録 付属ソフトウェアについて」の中で各ソフトウェアのインストール手順をご参照ください。

「MyDVD 4.0」と「ShowBiz」は、同時にインストールを行います。インストールウィザードでは、始めにMyDVDをインストールしてから、ShowBizのインストールを行いますので、途中でウィザードを終了しないようご注意ください。



参考

ソフトウェアのインストール完了時に、コンピュータを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。

その場合、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、そのまま次のソフトウェアのインストールを行うことができます。

一度に全てのソフトウェアをインストールする場合は、一番最後のソフトウェアインストール後にコンピュータを再起動すればそれまでにインストールした全てのソフトウェアが有効になります。

第4章

接続・インストール後の 取り扱いについて

第1章 ご使用の前に

第2章 接続について

第3章 ソフトウェアの
インストール

第4章 接続・インストール後の
取り扱いについて

第5章 補足事項

付録

4.1 DVDビデオを作るには...

ここではDVDビデオを作製する際の概要についてご説明します。実際の各ソフトウェアの操作・詳細な機能については、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルまたはヘルプファイルをご参照ください。

概要

DVDビデオの作製は、付属のソフトウェア「MyDVD」および「ShowBiz」を使用して、次の3つの手順でおこないます。

1. キャプチャする（「MyDVD」または「ShowBiz」）
はじめに、DVDビデオに書き込みたい映像素材をパソコンに取り込まなければなりません。
2. 編集する（「MyDVD」または「ShowBiz」）
次に、パソコンに取り込んだ映像素材を一つ一つご自身の好みに合わせて編集する作業があります。たとえば映像の前後をカットしたり、映像に効果音を入れたり文字を入れたりすることができます。また、2つの映像素材をつなぎ合わせるといった作業もここでを行います。
キャプチャした映像をそのままDVDビデオとして保存する場合は、この編集作業は必要ありません。
3. オーサリングをしてDVDに書き込む（「MyDVD」）
編集が終わった映像素材をDVDに書き込む前に、順番に並べ替える作業があります。この作業をオーサリングと呼びます。ここでは、映像のつなぎ目に効果を加えることはできません。再生する順番を決め再生方法の設定などを行ったらDVD-R/DVD-RWメディアへ書き込みを行います。



MyDVD と ShowBiz をどう使い分けるか

映像素材のキャプチャや編集は「MyDVD4.0」「ShowBiz」の2つのソフトウェアで行うことができますが、それぞれにできる作業、得意な作業があります。

「MyDVD」は、キャプチャからDVDの書き込みまでソフトウェアを切り替えることなく行うことができますが、編集作業では映像の前後をカットすることしかできません。

「ShowBiz」は、オーサリングとDVDの書き込みはできませんが、映像に効果を加える、2つの映像素材をつなぎ合わせる等といった映像素材に対する細かい作業を行うことができます。

いったん取り込んだ映像をこだわって編集する場合は「ShowBiz」を使用して編集までを行い、オーサリングと書き込み時に「MyDVD」へ切り替える、キャプチャした素材をそのまま並べ替えて使う場合は「MyDVD」だけを使用するように、用途や目的に応じて使い分けてください。

DVDビデオとして書き込みを行ったDVDメディアは市販のDVDプレーヤーで再生することができます。次に説明する、「CinePlayer」を使用すればパソコン上で再生することも可能です。



参考

MyDVDはキャプチャ・オーサリング・書き込みまでを自動で行う「Direct-to-DVD」機能を搭載しています。DVカメラの映像をダビングする際に便利です。

4.2 DVDビデオを再生するには

市販の映画やミュージッククリップ、本製品を使用して作成した映像などのDVDビデオを再生する場合は「CinePlayer」を使用します。再生を行うDVDメディアを本製品にセットして、CinePlayerを起動すると、自動的にメディアを検出し、メニュー画面を開きます。



4.3 パソコンのデータをDVDに書き込むには

4.3.1 バックアップソフトのご紹介

本製品はデータの書き込み用途に使用する「B's ラク～だ！バックアップ」「B's Recorder GOLD5」「B's Clip」の3つのソフトウェアを付属しています。ここでは、この3つのソフトウェアの概要および、「B's ラク～だ！バックアップ」を使用してのリカバリーDVD/CD作成方法についてご説明します。より詳しい機能については、本マニュアル「付録 付属ソフトウェアについて」、または、各ソフトウェアのユーザーズマニュアル（PDF形式）をご参照ください。

B's ラク～だ！バックアップ

「B's ラク～だ！バックアップ」はあらかじめ、用途に応じた使い分けができるように、以下の「B's Disk バックアップ」と「B's File バックアップ」の2つのバックアップソフトに分けられています。



起動時にどちらのタイプのバックアップを行うかを選択すれば、それぞれの「ウィザード」画面が起動しますので、後は画面の指示に従って進むだけで、簡単にバックアップを行うことができます。

「B's Disk バックアップ」ではハードディスクの環境をまるごとバックアップできるので、新しいWindowsに入れ替える前に元の状態をバックアップしておいたり、万一ハードディスクがクラッシュした時の備えとしてリカバリーDVD/CDを作っておいたりといった用途でご使用になることができます。

「B's File バックアップ」は大切なデータを定期的にバックアップしたり、画像や音楽データといった特定のファイルだけを選んで保存したりといった用途でご使用になることができます。

！ ご注意

B's File バックアップはDVD-R/RW メディアへの書き込みには未対応です。CD-R/RWメディアをご使用になるかハードディスクドライブでご使用ください。

B's Recorder GOLD5

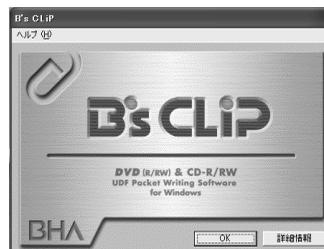
ウィザード方式で登録から書き込みまでを行うDVD/CDライティングソフトウェアです。DVD/CDメディアへのデータファイルの書き込み、音楽CDの作成、DVD/CD-ROMをまるごとコピーすることができます



また、音楽CDのコピー時にはオーディオエフェクトを設定することができます。この他にも音楽ファイル書き込み時のリッピング機能を備えています。

B's CLiP

「B's CLiP」をインストールするとフロッピーディスク等と同じようにドラック＆ドロップするだけで、DVD-R/DVD-RW、CD-R/CD-RWメディアへファイルやフォルダ単位でコピーすることができます。



ご注意

B's CLiPは、他社製のパケットライティングソフトと同時に使用できません。他社製のパケットライティングソフトがインストールされている場合はそのソフトをアンインストール（削除）する必要があります。

Windows XPで、エクスプローラの書き込み機能を使用する場合はB's CLiPをインストールしないでください。この2つの機能も重複して使用することはできません。

4.3.2 リカバリー DVD/CDの作成方法

ここでは、「B's ラク～だ！バックアップ」の「B's Diskバックアップ」を使用して、システムの起動情報を含む内蔵ハードディスクをまるごとDVD-R/RW(CD-R/RW)メディアへバックアップする方法についてご説明いたします。

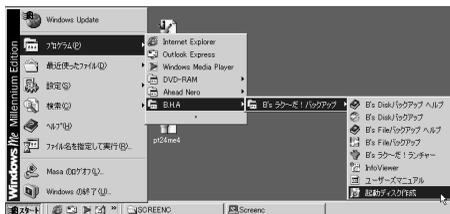
「B's ラク～だ！バックアップ」には、DVD-RW メディアおよびCD-RW メディアを消去する機能がありません。書き込み済みのメディアをご使用になる場合には、付属の「B's Recorder GOLD5 BASIC」にてあらかじめ消去しておいてください。

1. はじめに「リストア用起動ディスク」を作成します。

- ・本製品の場合、USB接続であるため、フロッピーディスクからシステムを起動してリカバリー（復旧作業）を行うこととなります。はじめに必ず起動ディスクを作成してください。このディスクを「リストア用起動ディスク」と呼びます。
- ・また起動ディスク作成後は、必ず正常に起動することを確認してください。

1-1

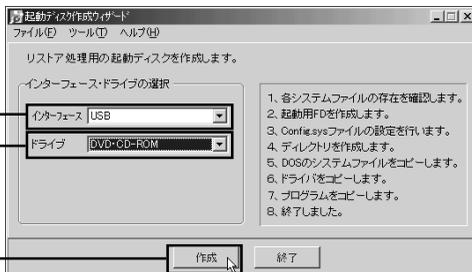
「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク～だ！バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から「起動ディスク作成」を選択してください。



1-2

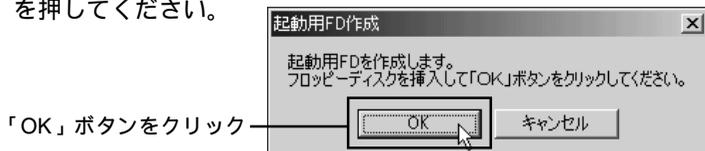
起動ディスク作成ウィザードが起動します。インターフェースに「USB」を選択し、ドライブに「DVD・CD-ROM」を選択して「作成」ボタンをクリックしてください。

1. USB を選択
2. DVD・CD-ROM を選択
3. 「作成」ボタンをクリック



1-3

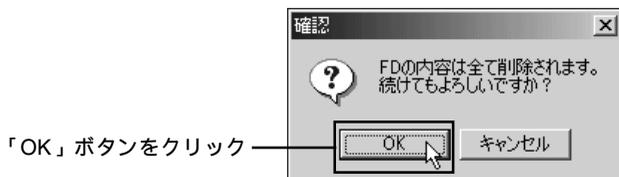
下のメッセージが表示されます。フロッピーディスクドライブに書き込み可能なフロッピーディスクをセットして、「OK」ボタンを押してください。

 **ご注意**

起動用のフロッピーディスクは必ず 1.44MB タイプの物をご使用ください。720KB タイプおよび 1.2MB タイプのフロッピーディスクでは起動ディスクは作成できません。

1-4

確認のメッセージが表示されます。セットしたフロッピーディスクの内容が削除されても構わない場合は「OK」ボタンをクリックして下さい。表示されない場合は 1-5 へお進みください。



1-5

下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



4.3 パソコンのデータをDVDに書き込むには

4.3.2 リカバリーDVD/CDの作成方法

1-6

書き込みが終了したら「終了」ボタンをクリックしてください。

「終了」ボタンを
クリック



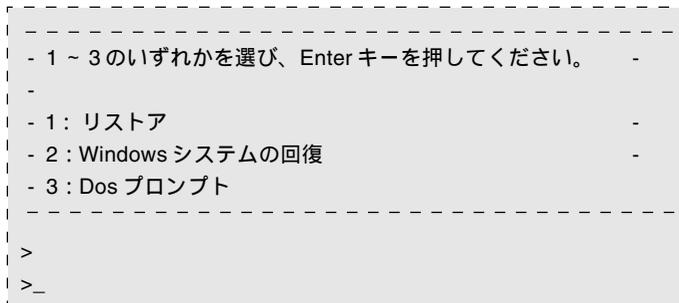
以上で起動ディスクの作成は終了です。次に作成した「リストア用起動ディスク」で、パソコンが起動できることを確認します。

1-7

「リストア用起動ディスク」をフロッピードライブに挿入した状態で、パソコンを再起動してください。

1-8

正常に起動した場合は、以下のような起動ディスクのメニューが表示されます。



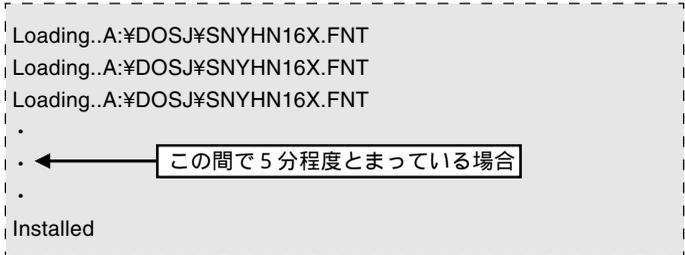
このメニューが表示された場合は、リストア用起動ディスクをドライブから取り出し、パソコンの電源を切ります。これでテストは完了です。

「2. 起動ドライブのバックアップをします。」へお進みください。

Pointポイント

フロッピーディスクドライブからコンピュータを起動するには、あらかじめパソコンのBIOS設定で、フロッピーディスクドライブの起動順位を一番に指定しておく必要があります。BIOS設定についてはパソコンに添付されているマニュアルなどをご参照ください。

以下の画面の状態、起動までに時間がかかる場合は、いったん作成したディスクを取り出し、システムを再起動して、下の「起動オプションを設定する」へお進みください。



途中で画面のメッセージが止まって動かない場合も、いったん作成したディスクを取り出し、システムを再起動して、下の「起動オプションを設定する」へお進みください。

Point ポイント

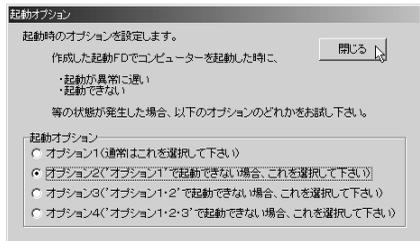
パソコンが起動しない場合は、BIOSの設定が正しくないか、パソコン側の異常です。ご使用のパソコンの発売元にお問い合わせください。

起動オプションを設定する

起動ディスクが正常に動作しない場合は、以下の手順で起動オプションを変更して起動ディスクを作成しなおしてください。

30 ページの 1-1 を参照して「起動ディスク作成ウィザード」を起動します。「起動ディスク作成ウィザード」のメニューバーから「ツール」「オプション設定」を選択します。

右の画面が表示されますので「オプション2」を選択し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



この後は 30 ページ 1-2 以降の手順を繰り返し、もう一度起動ディスクを作成します。

作成後、正常に起動するかを確認してください。(前ページ 1-7 以降参照) 正常に起動した場合は、「2.起動ドライブのバックアップをします。」へお進みください。

正常に起動しない場合は、「オプション3」「オプション4」の順に試してみてください。

第1章 ご使用の前に

第2章 接続について

第3章 ソフトウェアのインストール

第4章 接続・インストール後の取り扱いについて

第5章 補足事項

付録

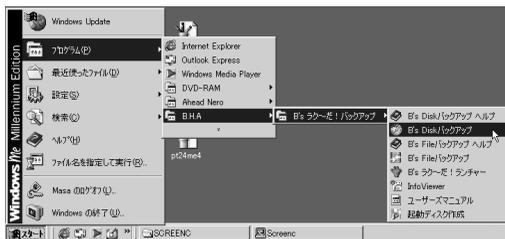
4.3 パソコンのデータをDVDに書き込むには

4.3.2 リカバリーDVD/CDの作成方法

2. 起動ドライブのバックアップをします。

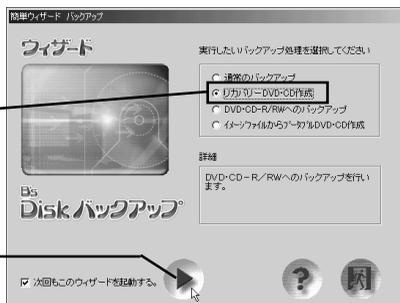
2-1

「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク~だ!バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から「B's Diskバックアップ」を選択してください。



2-2

簡単ウィザードが起動しますので、「リカバリーDVD・CD作成」のラジオボタンを「ON()」にして「次へ」ボタン(三角のボタン)を押してください。



1. 「リカバリーDVD・CD作成」を選択して、

2. 「次へ」ボタンをクリック

2-3

バックアップするディスクを選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



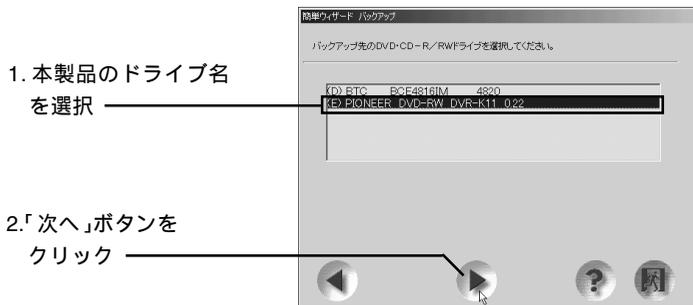
1. ディスクを選択

2. 「次へ」ボタンをクリック

上のドライブ選択画面はあくまでも一例です。ご使用のシステムをご確認の上、正しいドライブまたはパーティションを選択してください。

2-4

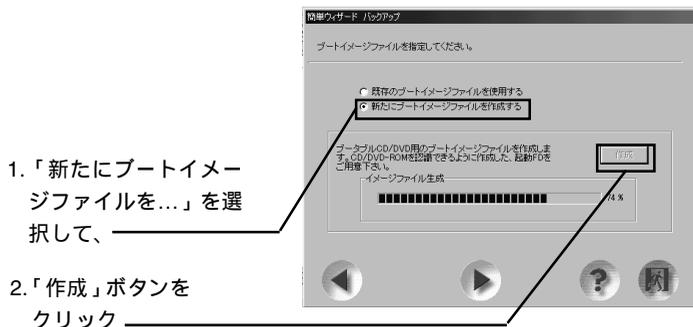
バックアップ先のDVD・CD-R/RWドライブ選択画面が表示されます。本製品のドライブ名を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



2-5

下の画面が表示されます。

「新たにブートイメージファイルを作成する」を選択して、「作成」ボタンをクリックしてください。



ブートイメージファイルを一度作成したら、次回からは「既存のブートイメージファイルを使用する」を選択してバックアップを行ってください。

4.3 パソコンのデータをDVDに書き込むには

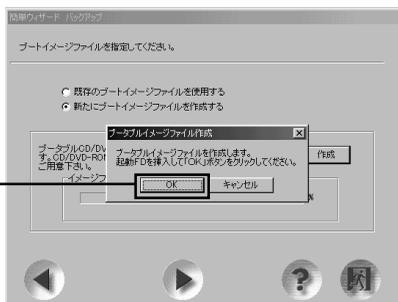
4.3.2 リカバリーDVD/CDの作成方法

2-6

下の画面が表示されます。

先ほど作成した「リストア用起動ディスク」をフロッピードライブに挿入して、「OK」ボタンをクリックしてください。ブートイメージファイルの作成が開始されます。

「リストア用起動ディスク」を
フロッピードライブに挿入し
て、「OK」ボタンをクリック



2-7

下の画面が表示されます。

ブートイメージファイルの作成が完了すると、以下の画面になります。「OK」ボタンをクリックして「情報」メッセージボックスを閉じた後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 「OK」ボタンをクリック

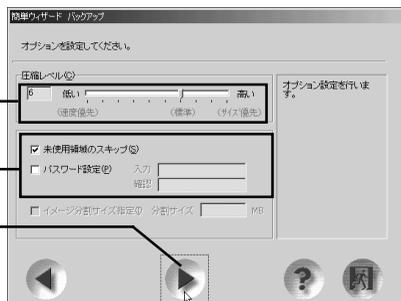
2. 「次へ」ボタンをクリック



2-8

下の画面が表示されます。ここではバックアップファイルの圧縮レベルを0から9で設定することができます。数値が大きいほど圧縮率が高くなります。通常は標準（レベル6）のままにしてください。必要な場合は、その下の各項目を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。

1. 圧縮レベルを指定して、
2. 必要な場合は各項目を設定
3. 「次へ」ボタンをクリック



Point ポイント

圧縮レベルを高く設定するとバックアップファイルの容量は小さくなりますが、バックアップ作業に時間がかかります。圧縮レベルを低く設定すると、高く設定した場合と比較してファイル容量は大きくなりますが、バックアップ作業が早く終わります。

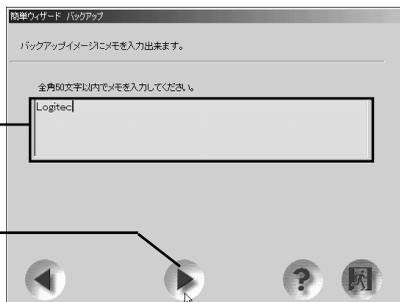
「未使用領域のスキップ」にチェックを入れると、ドライブ内の使用していない領域をスキップしてバックアップをするので処理が早くなります。

パスワードを設定すると、リストア時にパスワード入力が必要になります。この設定を行うと第3者が勝手にシステムをリストアできないようにすることができます。ただし、設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。リストアができなくなります。

2-9

必要に応じてバックアップイメージに添付できるメモを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。メモは全角で50文字まで入力できます。何も入力しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 必要な場合はメモを入力
2. 「次へ」ボタンをクリック



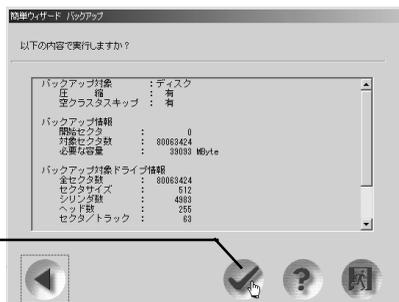
4.3 パソコンのデータをDVDに書き込むには

4.3.2 リカバリーDVD/CDの作成方法

2-10

バックアップ内容が表示されます。内容を確認して、チェック「レ」ボタンをクリックしてください。

内容を確認したら
「レ」ボタンをク
リック



2-11

環境設定画面が表示されます。そのまま「設定」ボタンをクリックしてください。

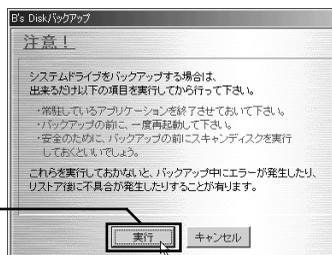
「設定」ボタンをクリック



2-12

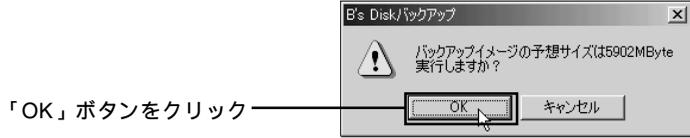
下の画面が表示されます。注意事項をご確認の後、「実行」ボタンをクリックしてください。

「実行」ボタンをクリック



2-13

確認のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



2-14

バックアップが実行されます。実行中は進行状況がパラメータで確認できます。バックアップは自動で行われます。



ご注意

- ・ バックアップ中は、他のアプリケーションを開いたりしないでください。
- ・ DVD-R/RW メディアへのバックアップは、バックアップするディスク容量や圧縮レベルの設定、ご使用のパソコンのスペックに依存しますが、最低でも1時間以上かかります。
- ・ バックアップ中にセクタの読み込みエラーがあった場合、そのセクタアドレスの一覧が表示されます。これらのセクタのデータはバックアップされませんので、リストアを実行しても該当セクタ上に存在するファイルは復元できません。スキャンディスクまたはエラーチェックを実行してからもう一度バックアップを実行すると改善されることがあります。

2-15

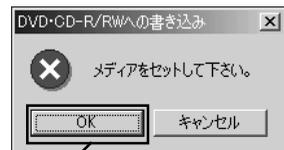
セットしたメディアがいっぱいになった場合、下の画面が表示されますので、新しいメディアをセットして「OK」ボタンをクリックしてください。表示されない場合は2-17へお進みください。



ご注意

ここで、「キャンセル」をクリックすると作業が終了してしまいます。

「OK」ボタンをクリック

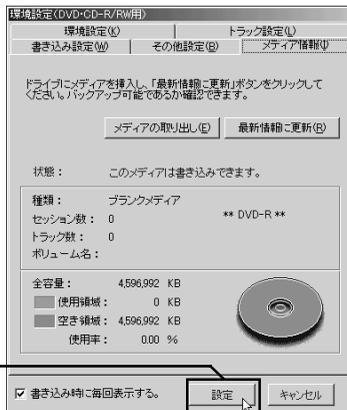


4.3 パソコンのデータをDVDに書き込むには

4.3.2 リカバリーDVD/CDの作成方法

2-16

再度環境設定画面が表示されますので、そのまま「設定」ボタンをクリックしてください。



「設定」ボタンをクリック

2-17

「終了しました」と表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



「閉じる」ボタンをクリック

以上でバックアップは終了です。バックアップ後は必ず、DVD/CDにバックアップしたイメージデータのチェックを行ってください。イメージデータのチェックは、「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク～だ！バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から「InfoViewr」を起動して行います。

「4.3.3 リストアについて」では、作成したリカバリーDVD/CDからシステムをリストアする方法についてご説明いたしますので、そちらもご参照ください。

4.3.3 リストアについて

ここでは、作成したリカバリー DVD/CD メディアからシステムをリストアする方法についてご説明いたします。その他のリストア方法（パーティション単位でのリストアなど）については、「B's ラク～だ！バックアップ」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

なお、説明に使用する画面内の数値部分はすべて一例です。実際に表示される数値は、ご使用の環境により異なります。

！ ご注意

リストアには DVD 1 枚（4.7GB）あたり約 50 分程度かかります。

パソコンの電源が切られている状態で、フロッピーディスクドライブに「リストア用起動ディスク」をセットします。

パソコンの電源を入れます。

以下のメッセージが表示されます。キーボード上で「1」キーを押して、「Enter」キーを押します。

```

- 1～3のいずれかを選び、Enterキーを押してください。 -
-
- 1：リストア -
- 2：Windowsシステムの回復 -
- 3：Dosプロンプト -
>
>_

```

リストアプログラムが起動します。（起動するまでしばらく時間がかかる場合があります）下の画面が表示されたら「>」「<」のカーソルで「>リストア」を選択し、「Enter」キーを押してください。

B's Disk バックアップ Version x.x バックアップイメージ復元プログラム

```

          処理を選択して下さい。
          > リストア
          終了

```

以下の画面が表示されたら、本製品（Q：）を選択し、「Enter」キーを押してください。

リストアプログラムでは、本製品のドライブ名はQ：に固定されます。

バックアップイメージのあるドライブを選択して下さい。		
：ドライブ	：ボリュームラベル	：
：	A：（フロッピーディスク）	：
：	C：XXXXXX	：
：	Q：（CD-ROM）	：
：		：

以下のメッセージが表示されたら、作成済みのリカバリーDVD/CDメディアを本製品にセットし、「スペース」キーを押してください。

リストア
メディアをセットして何かキーを押してください。

フォルダの指定画面が表示されます。作成したリカバリDVD/CDは、ルートディレクトリにイメージファイルが書き込まれているので、ここでは「」「」のカーソルで「いいえ」を選択して、「Enter」キーを押します。

フォルダの指定
イメージファイルのフォルダを指定しますか？
は い いいえ

バックアップログが表示されます。内容を確認して「Enter」キーを押してください。

バックアップログ 確認後 [Enter] を押して下さい。	
バックアップ対象	：ディスク
圧縮	：有
空クラスタスキップ	：有
バックアップ情報	

リカバリー DVD/CD の作成時にパスワードを設定していた場合、以下の画面が表示されますので、パスワードを入力し、「Enter」キーを押してください。設定していない場合は手順 へお進みください。

パスワード確認
パスワードを入力して下さい。
<input type="text"/>

バックアップしたディスク内に複数のパーティションが存在する場合は、下の画面が表示されます。「 」 「 」のカーソルで「**ディスク全体をリストアする**」を選択して「Enter」キーを押してください。
(表示されない場合は、手順 へお進みください。)

リストアするパーティションを選択してください。			
: No :	セクタ数	: 容量 (MB)	: FAT タイプ
ディスク全体をリストアする			
: 1 :	3084417	: 1506	: Fat16
: 2 :	4192965	: 2407	: Fat32
: 2 :	4192965	: 2407	: NTFS

以下の画面が表示されます。下の注意事項をご確認の上、「 」 「 」のカーソルでリストア先のディスクを選択し、「Enter」キーを押してください。

リストア先ディスクを選択してください。			
: No :	パーティション数	: 容量 (MB)	: ドライブ
: 0 :	2	: 12416	: C:,F:
: 1 :	3084417	: 2063	: D:
: 2 :	4192965	: 4118	: E:

! ご注意

リストア先に指定したディスク内にデータが残っていた場合、そのデータはすべて削除されます。

第1章 ご使用の前に

第2章 接続について

第3章 ソフトウェアのインストール

第4章 接続・インストール後の取り扱いについて

第5章 補足事項

付録

確認の画面が表示されます。リストアを実行してよければ、「」「」のカーソルで「はい」を選択し、「Enter」キーを押してください。

B's Disk バックアップ Version x.x バックアップイメージ復元プログラム

以下のドライブをリストアします。

: ドライブ-パーティション: ボリュームラベル: セクタ数: 容量 (MB) FAT タイプ
: 1-0: : 205647 : 1004 : FAR32

リストア元バックアップイメージ
: バックアップ日付: タイプ : スキップ
: 2003/2/26 : パーティション : 有

イメージファイル
: E:¥01BSBKUP.INF
: E:¥BACKU

リストア
リストア先の内容は削除されます。この内容で実行しますか?
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

リストアが完了すると、終了のメッセージが表示されますので、「Enter」キーを押してください。

リストア処理を終了しました。(所要時間 XX分)

以下の画面が表示されますので、「終了」を選択し、「Enter」キーを押してください。

処理を選択して下さい。
リストア
> 終了

再起動を確認するメッセージが表示されますので、「リストア用起動ディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出して、「Enter」キーを押してください。

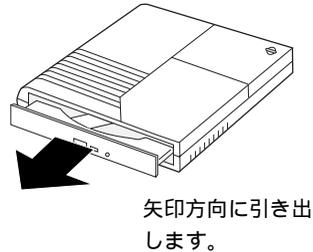
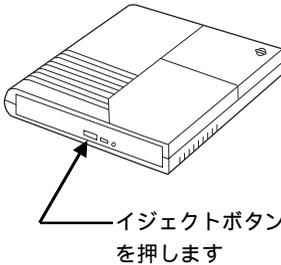
リストア 再起動します。

Windows が再起動したら、リストアは完了です。
再起動時に ScanDisk が実行されることがありますが、これは異常ではありません。

4.4 メディアのセット/取り出しについて

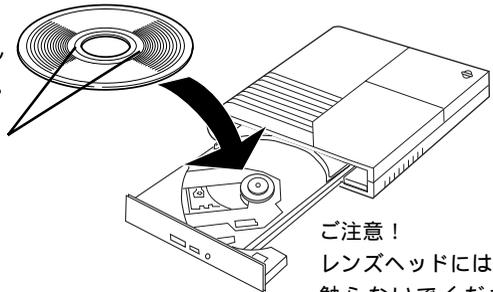
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが1センチほど排出されますので、静かに引き出してください。

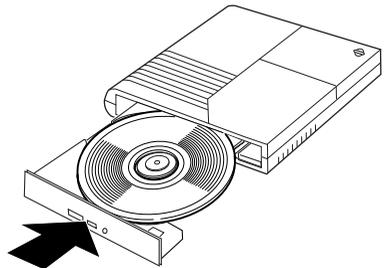


トレイが排出されたら、メディアを乗せて、中央部を軽く押してパチンとロックしてください。

このあたりを押して
ロックします



トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

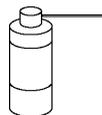


本製品にセットしたメディアを取り出したい場合も、メディアをセットするときと同様に、イジェクトボタンを押してトレイを排出してください。

⚠️ ご注意

- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVD-R, DVD-RW メディアにはラベルを貼付しないでください。

- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。



ダストクリーナ

- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

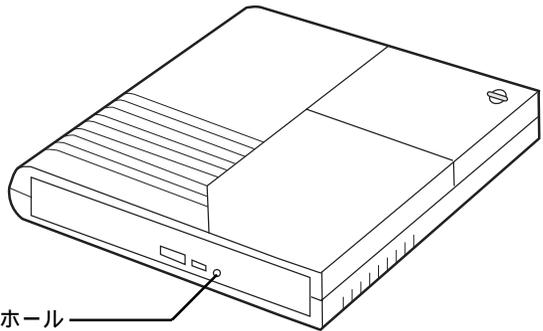
メディアが取り出せなくなった場合

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まず本製品のビジー表示ランプ点灯していないかを確認してください。点灯していない場合には、セットしているメディア内のファイルをすべて終了して、本製品をパソコンから取り外し、一度本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを手動で排出することができます。これを行なうときには、必ず本製品のACアダプタを外してください。

ボールペンの先などで強制イジェクトホールの奥のスイッチを押してください。

トレイが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



強制イジェクトホール



ご注意

- ・ 本製品に電源が供給されている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。
- ・ Windows 環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態ではトレイを排出することができません。

4.5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

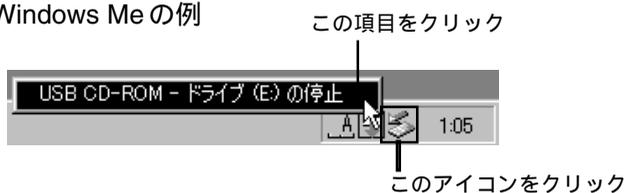
- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用しているUSB機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

上記の点を確認したら、以下の手順で取り外しを行ってください。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。

Windows Me の例



Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 98 Second Edition の場合

「PIONEER DVD-RW DVR-K11 を止める：ドライブ (E:) の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します。」

Point ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名の例ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブルを外してください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

第1章
ご使用の前に

第2章
接続について

第3章
ソフトウェアの
インストール

第4章
接続・インストール後の
取り扱いについて

第5章
補足事項

付
録

本製品がまったく認識されない。

- ・ケーブルの接続に接触不良等がないかどうかを確認してください。
- ・電源コードの接続やコンセントの状態に問題がない事を確認してください。また、本製品天面の電源表示ランプが点灯している事を確認してください。
- ・USB 2.0ボードのドライバは正しくインストールされていますか？また、使用OSのバージョンに問題はありますか？
- ・「5.2 デバイス上の登録名について」を参照し、本製品の項目が正しく登録されているかどうかを確認してください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続しておいてください。
- ・ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

「4.1 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

セットしたメディアが認識されない。

- ・裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？
- ・そのメディアは本製品でサポートしているものかどうかを確認してください。本製品で使用可能なメディアについては第1章「1.2 使用可能なメディア」をご参照ください。

特定のDVD-ROM / CD-ROM をアクセスできない。

- ・そのメディアはMacintosh用のCD-ROM (HFS フォーマット) ではありませんか？ 本製品ではMacintosh用のCD-ROMはアクセスできません。

Windows 98 環境で USB ドライバをインストールしたが、マイコンピュータにアイコンが登録されない。

USB ドライバの再インストールを行う必要があります。

1. 「5.2 デバイス上の登録名について」を参照しデバイスマネージャに必要なデバイスが登録されていることを確認してください。
2. 登録されていない場合、「デバイスマネージャ」ウィンドウに「?その他のデバイス」という項目と、その下に枝分かれが表示されているか確認してください。(枝分かれが表示されていない場合は、「?その他のデバイス」をダブルクリックしてください。)
3. 枝分かれの部分に「? LDR USB Device」と表示されていれば、それが誤まって認識されたドライブです。
4. 「? LDR USB Device」をクリックし、選択状態にしてから画面内の「削除」ボタンをクリックします。
5. 「コントロールパネル」を閉じ、本製品をパソコンから取り外してから、パソコンをいったん終了させます。
6. パソコンを再度起動して、Windows が起動した後、本製品を接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので、この後は本書を参照し、インストール手順に従って作業を行ってください。

パソコン上で DVD ビデオが再生できない。

- ・本製品を USB 2.0 インターフェースに直接接続していますか？ USB 1.1 インターフェース接続や、USB ハブを介しての接続の場合、DVD ビデオの再生はできません。
- ・CinePlayer は正しくインストールされていますか？
- ・リージョンコード「2」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか？これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生できません。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「5.3 使用環境について」をご参照ください。

本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できない。

- ・市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-R、DVD-RW メディアに対応していないものもあります。ご使用の DVD プレーヤー - のカタログ・取扱説明書などをご確認ください。また、本製品で作成した DVD ビデオを再生可能な DVD プレーヤーの情報については、弊社ホームページ（次ページ参照）もご参照ください。

USB 2.0 インターフェースに接続しているのにメディアの読み出し動作が遅い。

- ・接続に使用している USB ケーブルは本製品付属のもの、または USB 2.0 High-Speed 対応のものですか？
- ・USB ハブ経由で本製品を接続していませんか？本製品は USB ハブを介して接続すると正常に動作しません。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアの各メーカーではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合がありますのでご利用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

ソニック ソリューションズ

ホームページアドレス：<http://www.sonicjapan.co.jp/>

株式会社 ビー・エイチ・エー

ホームページアドレス：<http://www.bha.co.jp>

5.2 デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

OS	項目	登録されるデバイス名
Windows XP Windows 2000	DVD/ CD-ROM ドライブ	PIONEER DVD-RW DVR-K11 USB Device
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
Windows Me	CD-ROM	PIONEER DVD-RW DVR-K11
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	記憶装置	USB CD- ROM
Windows 98 SE	CD-ROM	PIONEER DVD-RW DVR-K11
	ハードディスク コントローラ	Logitech USB Mass- Storage Class Miniport Driver
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	Logitech USB Mass- Storage Class WDM Driver

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、電源を切る前に「? その他のデバイス」の下に「? LDR USB Device」という項目があるかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に再度 USB ドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows Me , 98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

5 . 3 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境 (パソコン本体、メディアなど) の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

DVD-R/RW , CD-R/RW の書き込みを行う場合

パソコン本体

本製品は各社の DOS/V パソコン、および NEC PC98-NX シリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USB 2.0 ポートを持っていること。(CD-R , CD-RW 書き込み時は USB 1.1 ポートでも動作可能)

Pentium 550MHz 以上の CPU を搭載していること。

(CD-R , CD-RW 書き込み時は Celeron 300MHz 以上)

128MB 以上のメモリを搭載していること。

ハードディスクに 10GB 以上の空き容量があること。(20GB 以上を推奨)

できるだけ高速な CPU / 大容量メモリ / 大容量 HD を搭載した環境での使用を推奨します。

対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。全て日本語版に限定されません。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me

Windows 98 SecondEdition (*1)

Windows 2000 Professional

*1 Second Edition でない Windows 98 は対象外となります。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアおよび弊社ホームページで紹介しているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< DVD-R メディア >

パイオニア(株) 三菱化学(株) 太陽誘電 「That's シリーズ」

< DVD-RW メディア >

パイオニア(株)

< CD-R メディア >

太陽誘電(株) 「That's シリーズ」 (株)リコー TDK (株)
三井化学(株) 三菱化学(株) 日立マクセル(株) 富士写真フイルム

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。ただしUltra Speed CD-RW メディアには未対応です。

DVD-R, DVD-RW メディアにはラベルやシール等を貼付しないでください。

DVD ビデオの再生を行う場合

本製品付属のDVD再生ソフト「CinePlayer」を使用してDVDビデオの再生を行う場合、下記環境のUSB 2.0ポートに接続する必要があります。

Pentium 400MHz 以上または Celeron 466MHz 以上の CPU

DVDビデオの音声を再生するには、サウンドボードとスピーカが必要です。本製品のヘッドフォン端子から再生することはできません。

CinePlayerの詳しい使い方はタスクバー上の「スタート」「プログラム」「Sonic」「CinePlayer」「ドキュメント」「CinePlayer ヘルプ」と選択し、起動するヘルプファイルをご参照ください。



正誤

本製品をご使用の前に必ずお読みください。

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品付属のユーザーズマニュアル内に一部訂正事項がございます。ここにお詫
びと共に訂正させていただきます。

該当箇所：38ページ、手順2-11

ユーザーズマニュアル記載の内容を以下のように読み替えて設定を行っ
てください。

2-11

環境設定画面が表示されたら、「環境設定」タブを選択し、以下のように設定
を行います。

「使用可能なドライブ」に本製品（PIONEER DVD-RW DVR-K11）が
選択されていることを確認

「作業ドライブ」の欄の「作業ドライブを使用せず直接メディアへ書
き込む」のチェックボックスをチェック

「書き込み時に毎回表示する」のチェックボックスをチェック

「設定」ボタンをクリック

「環境設定」タブをクリック

本製品が選択されていることを確認

「作業ドライブを使用せず...」を
チェック

「書き込み時に毎回表示する」を
チェック

「設定」ボタンをクリック



B's Recorder GOLD5 BASIC

オリジナルCDやDVDの作成、CDやDVDのバックアップ用途に最適なソフトウェアです。データの登録から書き込みまでの作業が一画面で完結する「ウィザード機能」で、簡単にCDやDVDを作ることができます。

特徴

ウィザード機能

起動時に表示されるウィザード機能に従って操作を行えば、初心者でも簡単にCD/DVDを作成できます。

オリジナル音楽CDの作成

音楽CDやWAVファイル、MP3/TwinVQなどからお気に入りの曲を集めて、オリジナルの音楽CDを作成することができます。

PCデータの書き込み

DVD-ROM互換のPCデータの書き込みが可能です。DVD-Rメディアの場合には、データの改ざんができない特性を生かして、重要なデータの保存にも活用できます。また、マルチボーダーでの追記に対応(1)しています。DVD-RWメディアの場合には、書き込んだデータを一旦消去することにより、再度書き込みを行うことができます。

CD/DVDのコピー機能

簡単な設定でCDやDVDをまるごとコピーすることができます。また、HDDバックアップ機能も備えておりますので、ウィザードに従って操作を進めるだけで大容量HDDも簡単にバックアップできます。

- 1 マルチボーダーで書き込んだディスクはWindows XP/2000でのみ読み込みが可能です。

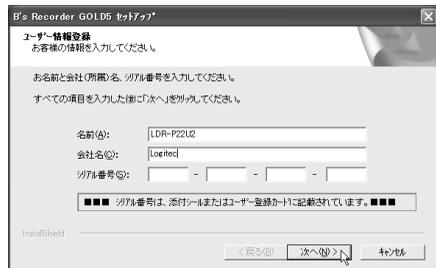
インストール手順

- 1 「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、セットアップランチャーが起動したら「B's Recorder GOLD5」のボタンをクリックして、「B's Recorder GOLD 5」の画面に切り替え「インストール」ボタンをクリックします。

セットアップウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。その後は手順に従ってインストールを行います。



- 2 途中でユーザー情報登録画面が表示されますので、すべて半角英数字で、名前、所属、シリアル番号を入力し（注）「次へ」をクリックしてください。



注) シリアル番号は本書巻末をご参照ください。

- 3 画面の指示に従ってインストールを進めると最後に右の画面が表示されます。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。以上でインストール完了です。



操作方法について

操作方法については B's Recorder GOLD5 のユーザーズマニュアルをご参照ください。ユーザーズマニュアルを参照するには、B's Recorder GOLD5 インストール後に、「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's Recorder GOLD5」「ユーザーズマニュアル」と選択します。

起動方法

インストール後「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's Recorder GOLD5」「B's Recorder GOLD5」と選択します。下のような補助メニューが表示されます。「閉じる」ボタンを押すと、メインウィンドウから、細かい設定を行うことができます。



ビデオ CD ボタン：
DVD ビデオや CD を作成する場合、このボタンをクリックします。

リッピングボタン：音楽 CD 等のデータを WAV ファイルや MP3、TwinVQ ファイルとしてパソコンに取り込む場合、このボタンをクリックします。

コピーボタン：CD/DVD を丸ごとコピーする場合、このボタンをクリックします。

音楽 CD ボタン：リッピング機能を使用して取り込んだ音声のデータを音楽 CD としてメディアに書き込む場合、このボタンをクリックします。

データボタン：データ CD/DVD を作成する場合、このボタンをクリックします。

B's CLiP5

B's CLiP ではパケットライティング方式で DVD-RW メディア /CD-RW メディアへのパソコンのデータの書き込みが可能です。ファイルやフォルダ単位の書き込みが可能ですので、大容量コンテンツのバックアップや、日々データを更新するような作業に有効です。

ドラック＆ドロップでデータのコピーが可能

エクスプローラなどからドラック＆ドロップするだけでファイルやフォルダ単位でコピーができるFDDやMOと同様の機能がDVD-RW、CD-RWメディアに対して行うことができます。



ご注意

B's CLiPは、他社製のパケットライティングソフトと同時には使用できません。他社製のパケットライティングソフトがインストールされている場合はそのソフトをアンインストール（削除）する必要があります。

Windows XPで、エクスプローラの書き込み機能を使用する場合はB's CLiPをインストールしないでください。この2つの機能も重複して使用することはできません。

インストール手順

- 1 「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、セットアップランチャーが起動したら「B's CLiP」のボタンをクリックして、「B's CLiP」の画面に切り替え「インストール」ボタンをクリックします。

セットアップウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。その後は手順に従ってインストールを行います。



- 2 途中でユーザー情報登録画面が表示されますので、すべて半角英数字で、名前、所属、シリアル番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。



シリアル番号は本書巻末をご参照ください。

- 3 画面の指示に従ってインストールを進めると最後に右の画面が表示されます。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。



以上でインストール完了です。

操作方法について

操作方法についてはB's CLiPのユーザーズマニュアルをご参照ください。

ユーザーズマニュアルを参照するには、B's CLiPインストール後に「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's CLiP」「ユーザーズマニュアル」を選択します。

起動方法について

B's CLiPはWindows起動時に、自動的に起動します。

使用上のご注意

B's CLiPでの書き込みを行う際は、事前にメディアをフォーマットする必要があります。Windows Me、98 Second Editionを使用する場合、2GBを超えるデータのコピーができない場合があります。

B's ラク～だ！バックアップ

B'sラク～だ！バックアップは、ハードディスクをまるごとバックアップ可能な「B's Disk バックアップ」と、データファイルを簡単に効率よくバックアップできる「B's File バックアップ」の二つのソフトウェアから構成されています。

現在ご使用中のパソコン環境を「B's Disk バックアップ」でまるごとバックアップしておき、日々増加を続ける大切なデータファイルは「B's File バックアップ」を使って効率よくバックアップすることにより、トラブルが発生してもすばやく対処できます。

B's Disk バックアップ

- ・ハードディスクおよびパーティション単位でまるごとバックアップが可能。
システムの起動情報を含む、ハードディスクのバックアップが可能です。
- ・ブータブルDVD/CDの作成が可能。
起動可能なリカバリー用DVD/CD-ROMを作成できます。（本製品の場合USB接続であるため、リカバリー用の起動フロッピーディスクを作成して、そのフロッピーディスクから起動することになります。）
- ・大容量ディスクも高速バックアップ
ハードディスク内の未使用領域をスキップして、高速なバックアップが可能です。

B's File バックアップ

- ・目的に合わせて選べるバックアップ方法。
複雑な設定なしにバックアップを実行できる「簡単ウィザード」によるバックアップ、バックアップするファイルの条件を詳細に決められる「詳細」バックアップ、同じバックアップを繰り返すのに便利な「ショートカット」によるバックアップが可能です。
- ・「差分バックアップ」でバックアップ時間を短縮可能。
一回目のバックアップでは全てのファイルをバックアップしますが、二回目以降は変更のあったファイルや、新しいファイルのみバックアップされます。大量のファイルがバックアップの対象となる場合、差分のみバックアップすることにより、作業時間が短縮されます。

インストール手順

第1章 使用の前

- 1 「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、セットアップランチャーが起動したら「B's ラク～だ！バックアップ」のボタンをクリックして、「B's ラク～だ！バックアップ」の画面に切り替え「インストール」ボタンをクリックします。

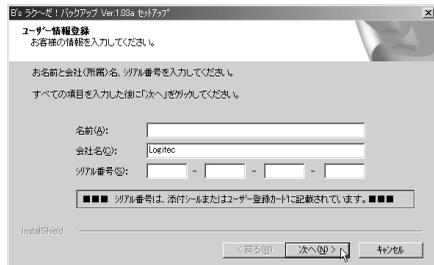
第2章 接続について

セットアップウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。その後は手順に従ってインストールを行います。



第3章 ソフトウェアのインストール

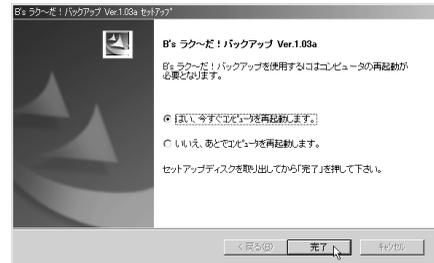
- 2 途中でユーザー情報登録画面が表示されますので、すべて半角英数字で、名前、所属、シリアル番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。



シリアル番号は本書巻末をご参照ください。

第4章 接続・インストール後の取り扱いについて

- 3 画面の指示に従ってインストールを進めると最後に右の画面が表示されます。



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。

以上でインストール完了です。

第5章 補足事項

付録

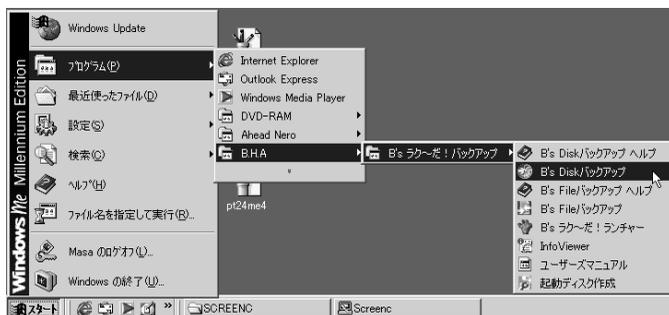
操作方法について

操作方法についてはB's ラク～だ！バックアップのユーザーズマニュアル(PDF形式)をご参照ください。

ユーザーズマニュアルを参照するには、B's ラク～だ！バックアップインストール後に、「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク～だ！バックアップ」「ユーザーズマニュアル」と選択します。

起動方法について

インストール後「スタート」「プログラム」「B.H.A」「B's ラク～だ！バックアップ」と選択し、表示されるリストの中から起動したいメニューを選択します。(下の図はB's Diskバックアップを選択した場合の例)



MyDVD™ 4.0

第1章
ご利用の前

第2章
接続について

第3章
ソフトウェアの
インストール

第4章
接続・インストール後の
取り扱いについて

第5章
補足事項

付
録

MyDVD 4.0は使いやすいユーザーインターフェースで、DVDオーサリングと、DVD-R、DVD-RWメディアへの書き込みを、簡単操作で行うことができます。「モーションメニュー」などの高度な機能を駆使して、見応えのあるDVDビデオを簡単に作成できます。CD-R、CD-RWメディアへのVideoCDの書き込みも可能です。

「モーションメニュー」

DVDビデオのメニューを、動画で構成することができます。メニューの「背景」および「ボタン」を動画で作成し、ビデオの内容が一目でわかるようなメニューを作成することができます。モーションメニューには、プロデザイナーによる背景用のテンプレートも用意されています。

「スライドショー」

デジタルカメラで撮影した画像などの静止画データを使用して、高度なスライドショーを作成することができます。音楽やナレーションを同時に保存できるので、BGM付きのスライドショーをDVDプレイヤーで再生することができます。作成したスライドショーと同時に、オリジナルの画像データもDVDに保存できます。個別のファイルとして保存されますので、パソコンでそのまま読み込むことができます。オリジナルの解像度のまま保存されますので、DVDの大容量を活かして、デジタルカメラデータの保存メディアとして利用することができます。

「OpenDVD対応」

MyDVDで作成したDVDビデオを、「再編集可能なデータとしてDVDメディアから読み戻す」ことができるので、メニューの変更やボタンの順番を並べ替えるといった再オーサリングを容易に行うことができます。前回DVDビデオを作成するときに使用した素材ファイルを、HDドライブに残しておく必要がありません。動画データだけではなく、DVDスライドショーのデータの再編集も可能です。DVD-RWメディアを使用した場合には、同じDVD-RWメディアに対して再編集したデータの再書き込みができるだけでなく、「新しいビデオ・コンテンツを追加」することができます。

「Direct-to-DVD機能」

DVカメラなどからキャプチャした動画データをリアルタイムでMPEGファイルにエンコードして、そのままDVD-R、DVD-RWメディアに書き込むことができます。ユーザーによるオーサリングやライティングの操作が不要で、メニューの作成も自動で行われますので、手軽にDVDビデオの作成を行うことができます。

インストール手順

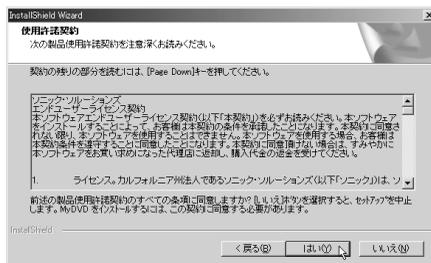
「MyDVD 4.0」は「ShowBiz」と同時にインストールを行います。途中でインストールを中断しないようご注意ください。

- 1 「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、セットアップランチャーが起動したら「MyDVD 4.0&ShowBiz」のボタンをクリックして、「インストール」ボタンをクリックします。

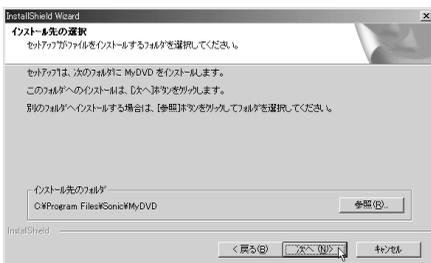
セットアップウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。



- 2 使用許諾契約画面が表示されます。内容をご確認の上「はい」ボタンをクリックしてください。



- 3 インストール先を選択するウィンドウが表示されます。特に問題がない場合はそのまま「次へ」をクリックしてください。



ここで参照ボタンを押すとインストール先を指定することができますが、コンピュータに詳しい知識がない場合はご使用にならないでください。

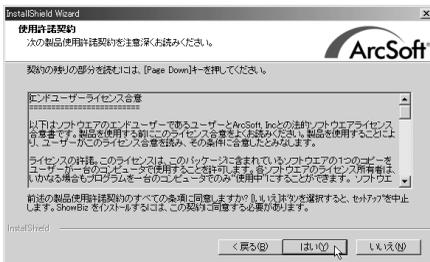
- 4 右の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



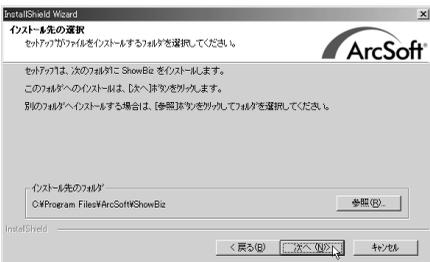
- 5 自動的にソフトウェアのインストールが行われ、終了すると ShowBizのインストールが始まります。「次へ」ボタンをクリックしてください。



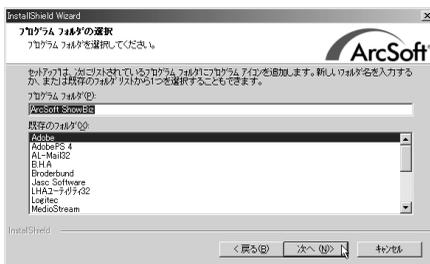
- 6 使用許諾契約画面が表示されます。内容をご確認の上「はい」ボタンをクリックしてください。



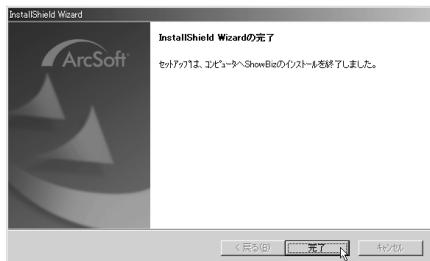
- 7 インストール先を選択するウィンドウが表示されます。特に問題がない場合はそのまま「次へ」をクリックしてください。



- 8 プログラムフォルダの選択ウィンドウが表示されます。そのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 9 自動的にインストールが行われ終了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



- 10 コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します」にチェックを入れて、「完了」ボタンをクリックしてください。



再起動後、ソフトウェアが使用可能な状態となります。以上でインストールは終了です。

操作方法について

操作方法についてはMyDVD 4.0のヘルプファイルまたはチュートリアルをご参照ください。

参照手順は以下の通りです。

「スタート」「プログラム」「Sonic」「MyDVD」「ドキュメント」内の「チュートリアル」と「ヘルプ」を選択して開いてください。

また、MyDVD 起動画面から「ヘルプ」または「チュートリアル」ボタンをクリックしても参照することができます（下の起動画面参照）。

起動方法について

「スタート」「プログラム」「Sonic」「MyDVD」「MyDVDの起動」と選択します。

インストール時にデスクトップ上にアイコンを作成した場合は、そのアイコンをクリックしても起動できます。



⚠️ ご注意

B'sCLiP がインストールされた環境では、MyDVD を使用して書き込みを行う際、ブランクメディアをドライブにセットすると、B's CLiP のフォーマットソフトが起動することがあります。その場合には「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

ShowBiz

DVカメラなどで撮影した映像をキャプチャし、タイトルや効果音などさまざまな効果を加えることが可能です。また、リアルタイムレンダリング機能を搭載しているため、編集結果を即時に確認することができます。

特徴

「本格的なビデオ編集/特殊効果」

特殊効果のアイコンをタイムライン(時間軸)にドラッグ&ドロップするだけで、映像素材に効果を与えることができます。20種類以上のフィルタやTV効果(炎、ネオン、雨滴、フィルム粒子、シェーク、合算、水平画面、レターボックス)を利用することもできます。

60種類以上の本格的な画面切替効果

標準的なワイプやフェードから、炎やアニメーションまで豊富な画面切り替えのメニューを用意しています。

タイトル文字の挿入

オリジナル映像にクレジットを追加することができます。タイトル文字のフォント、色、アニメーション、表示時間、位置などを調整することができます。30種類以上のユニークなタイトルアニメーションが用意されています。

複数のオーディオトラック

オリジナル映像にバックグラウンドミュージック、サウンドエフェクト、ナレーションなどを加えることができます。ShowBizでは、ビデオ素材に含まれるオーディオトラックとは別に2つのオーディオトラックを同時に登録することができます。

ムービーのプレビュー機能

編集したビデオの内容を、レンダリングする時間を待たずに確認できます。

既存ファイルの取り込み

パソコンに保存してあるファイルやインターネットでダウンロードしたファイルをビデオ素材として取込むことができます。サポートされるファイル形式は、MPG, AVI, MOV, ASF, MP3, WAV, BMP, JPG, PCX, GIF, TGA, FPX 等です。

インストール手順

ShowBiz は MyDVD 4.0 と同時にインストールを行います。MyDVD 4.0 のインストール手順をご参照ください。

起動方法について

「スタート」 「プログラム」 「ArcSoft ShowBiz」 「ShowBiz」と選択します。

操作方法について

操作方法については、ShowBiz のヘルプファイルまたは、「BASICS」内の説明をご参照ください。ヘルプファイルは起動画面右上の「」ボタンをクリックしてください。BASICS 内の説明を表示させるには、起動画面中央上の「」ボタンをクリックしてください。

説明を参照するにはここをクリック
ヘルプファイルを参照する場合はここをクリック



CinePlayer

CinePlayerはMicrosoft Direct Xを完全にサポートし、最高画質でのDVDビデオ再生を可能としています。直感的なユーザインターフェースから、全ての機能を簡単に操作することができます。

自動再開機能

前回再生を停止した位置を自動的に記憶し、停止位置からの再生が可能です。

Video CDのサポート

DVDビデオだけでなく、VideoCD (VCD) の再生にも対応しています。

スクリーンショット

再生中の映像からお気に入りの場面のスクリーンショットを撮ってビットマップ形式で保存することができます。

最高画質での再生

Microsoft Direct X®を完全にサポートすることで、最高のパフォーマンスを提供します。

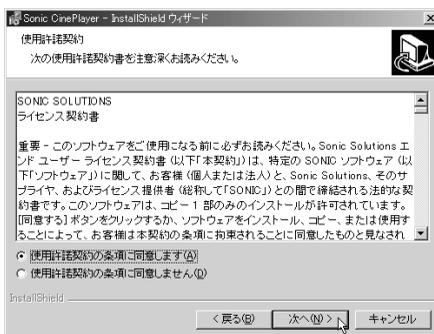
インストール手順

- 1 「LDR-P22U2 Software Pack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、セットアップランチャーが起動したら「CinePlayer」のボタンをクリックして、「CinePlayer」の画面に切り替え「インストール」ボタンをクリックします。

セットアップウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。



- 2 使用許諾契約画面が表示されます。内容をご確認の上同意する場合は、「使用許諾の条項に同意します」のラジオボタンを「ON()」にして、「次へ」ボタンをクリックしてください。



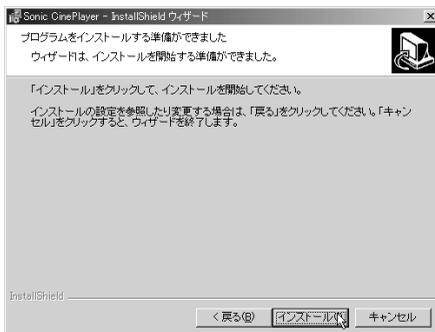
- 3 ユーザー情報登録画面が表示されます。ユーザー名、所属を入力してください。



- 4 セットアップタイプを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。特に問題のない場合は「すべて」を選択してください。



- 5 右の画面が表示されたら、インストールボタンをクリックしてください。自動的にインストールが開始されます。



- 6 ウィザードが終了すると最後に右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。以上でインストールは終了です。



操作方法について

操作方法についてはCinePlayerのヘルプファイルをご参照ください。ヘルプファイルは「スタート」「プログラム」「Sonic」「CinePlayer」「ドキュメント」「CinePlayer ヘルプ」と選択し起動します。

起動方法について

「スタート」「プログラム」「Sonic」「CinePlayer」「CinePlayerの起動」と選択します。

インストール時にデスクトップ上にアイコンを作成した場合は、そのアイコンをクリックしても起動できます。



ハードウェア仕様

機種名		LDR - P22U2		
ドライブメーカー		PIONEER		
ローディング方式		トレイ方式		
バッファメモリ		2MB		
バッファアンダーラン対策		あり		
インターフェース		USB 2.0 High- Speed (USB 1.1互換)		
コネクタ形状		USB シリーズ B		
アクセス 速度 *1 *2	DVD- Rへの書き込み	2倍速 / 標準速		
	DVD- RW への書き込み	2倍速 / 標準速 *3		
	CD- Rへの書き込み	16倍速 / 8倍速 / 4倍速		
	CD- RW への書き込み	8倍速 / 4倍速 *4		
	DVD- ROM の読み出し	シングル	最大 8倍速	
		デュアル	最大 6倍速	
	DVD- R , DVD- RW の読み出し		最大 4倍速	
	CD- ROM , CD- R の読み出し		最大 24倍速 (USB 2.0 接続時)	
最大 8倍速 (USB 1.1 接続時)				
CD- RW の読み出し		最大 16倍速 (USB 2.0 接続時)		
		最大 8倍速 (USB 1.1 接続時)		
記憶容量	DVD- R DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下		
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 74分ディスクで 650 MB 以下 63分ディスクで 540 MB 以下 *5		
平均アクセスタイム		DVD- ROM : 150 ms 以下		
		CD- ROM : 130 ms 以下		

- *1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。
- *2 DVDメディアはUSB 1.1 (Full-speed) では使用できません。記載されている速度は全てUSB 2.0 (High-Speed) での使用時のものです。
- *3 2倍速で書き込みを行うには高速記録対応メディアが必要です。(次ページの「書き込み可能DVDメディア規格」をご参照ください)
- *4 High Speedタイプ(4~10倍速対応)とMulti Speedタイプ(1~4倍速対応)のCD-RWメディアは書き込み・読み込みに対応しています。Ultra SpeedタイプのCD-RWメディアは読み込みのみ対応しています。
- *5 63分ディスクはCD-Rのみ

記録方式	DVD - R	Disc at once 方式	
		Incremental recording 方式	
		Multi-border recording 方式	
	DVD - RW	Disc at once 方式	
		Incremental recording 方式	
		Restricted Overwriting 方式	
CD- R CD- RW	Track at once 方式 / Disc at once 方式		
	Session at once 方式 / Packet write 方式		
最大データ転送速度 (I/F) *6		480 Mbps (USB 2.0 ; High - Speed) 12 Mbps (USB 1.1 ; Full - Speed)	
メディアとの最大 データ転送速度 *6	DVD- ROM	最大 10,800KB / s	
	CD -ROM	最大 3,600KB / s	
リージョンコード		2 (設定済み)	
環境条件 *7	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
ヘッドフォン出力		0.7 V	
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50 / 60 Hz	
消費電力 (定格)		10 W (typ) *8	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		145 × 24 × 160 mm *9	
質量		400 g *10	
設置方向		水平 *11	

*6 理論値

*7 ただし、結露なきこと

*8 ACアダプタ含む

*9 横置き時、突起部を除く

*10 本体のみ

*11 垂直方向には設置できません。

書き込み可能DVDメディア規格

名称	本製品での対応 書き込み速度
DVD-R for General Version 2.0 / 4x-SPEED DVD-R Revision 1.0	2倍速 / 1倍速 ()
DVD-R for General Version 2.0	2倍速 / 1倍速
DVD-RW Version 1.1 / 2x-SPEED DVD-RW Revision 1.0	2倍速 / 1倍速
DVD-RW Version 1.1	1倍速

本製品の仕様上、4倍速対応メディアを使用しても最大の書き込み速度は2倍速に制限されます。